

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス すきっぷ神楽Ⅱ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年2月16日 | | ～ 令和8年2月25日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21名 | (回答者数) 19名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年2月25日 | | ～ 令和8年3月6日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月12日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 挑戦する気持ちを育てる支援 | 野球やスキーなどの運動活動を通して、子どもたちが挑戦する経験を重ね、「できた」という成功体験を積み重ねながら自信につなげられる支援を行っています。 | 運動を通して挑戦する気持ちや達成感を感じられるよう、段階的な目標設定を行いながら支援を行います。 |
| 2 | 社会性を育てる関わり | 挨拶や礼儀などの基本的な社会性を大切にし、活動や日常の関わりの中で自然に身につけられるよう支援しています。 | 遊びと活動のメリハリを大切にするため、楽しむ部分と頑張る部分の明確な線引きを発信していき、切り替える力を育てていきます。 |
| 3 | 楽しさと成長のバランス | 遊びと活動のメリハリを大切にし、楽しむ時間と頑張る時間の切り替えを意識することで、子どもたちが主体的に活動に参加できる環境づくりを行っています。 | 活動や遊びの中で子どもたちが主体的に参加できる機会を大切にし、頑張ったことやできたことを振り返る時間を設けることで、楽しさと達成感の両方を感じられる支援を行います。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 職員ごとに声掛けや支援方法の違いが生じる場面があり、子どもたちが戸惑うことのないよう、より統一した関わりを行う必要がある。 | 日々の支援の中での振り返りや共有の時間が十分に確保できないことがあり、支援方法の統一につながりにくい場面がありました。 | 日々のミーティングを活用し、子どもの様子や支援方法を丁寧に共有することで、職員全体で統一した関わりができるよう取り組んでいます。 |
| 2 | 職員間の情報共有が薄く、子どもの様子や支援内容が十分に共有されない場面がある。 | 情報共有の方法が個人に依存する部分があり、子どもの状況をチームで共有する仕組みをさらに整える必要があります。 | 職員同士で意見を出し合いながら振り返りを行い、より良い支援につなげていく環境づくりを進めています。 |
| 3 | 保護者との連携を強化していく必要がある。 | 日々の様子を伝える機会はあるものの、相談や助言の機会をさらに広げていく必要があります。 | 連絡帳やLINE、電話連絡などを活用し、保護者との情報共有や相談の機会をさらに充実させていきます。 |